



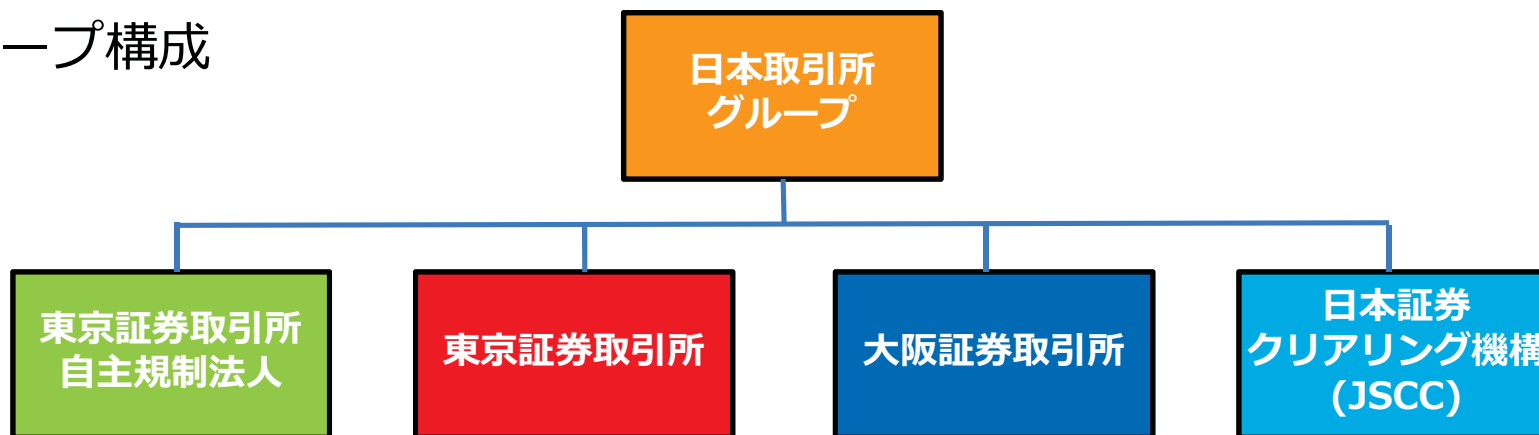
日本取引所グループの発足について

2013年1月31日

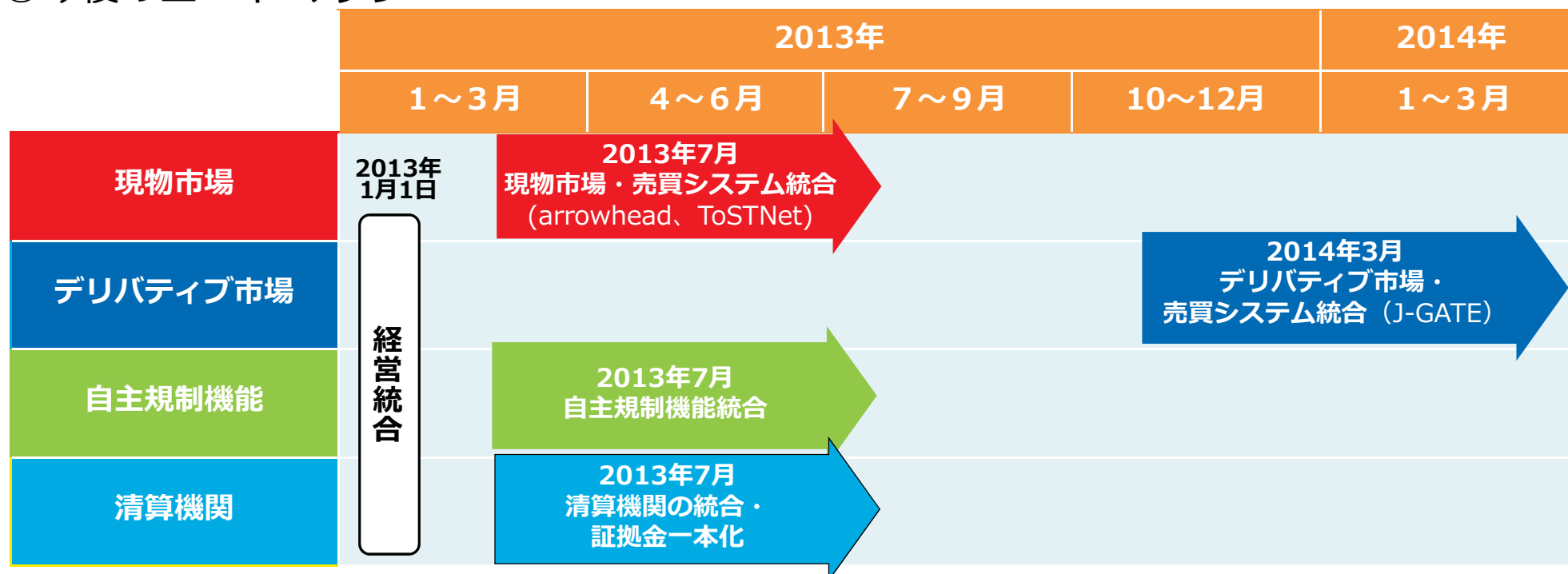
株式会社東京証券取引所

1. 日本取引所グループの発足について

○グループ構成

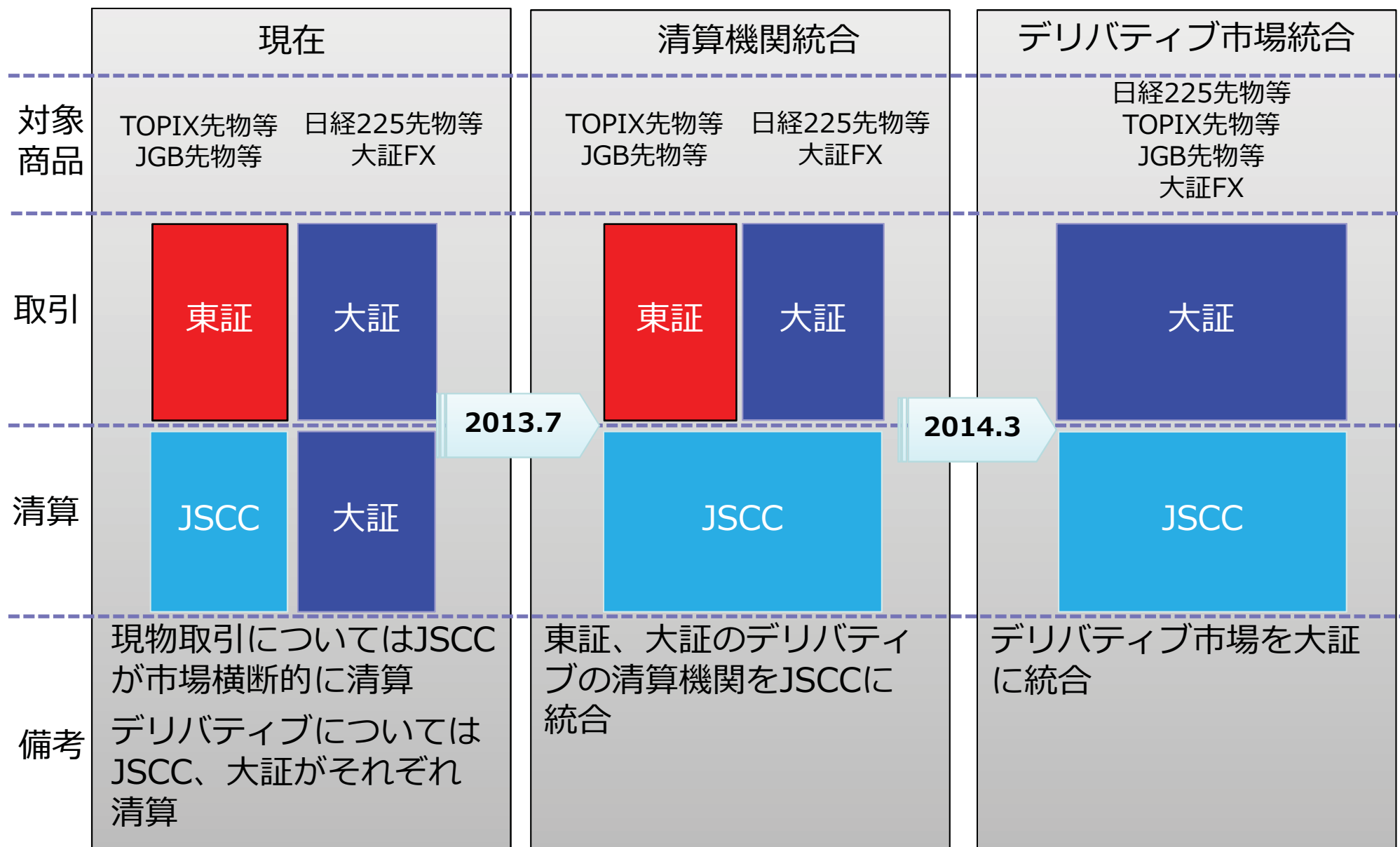


○今後のロードマップ

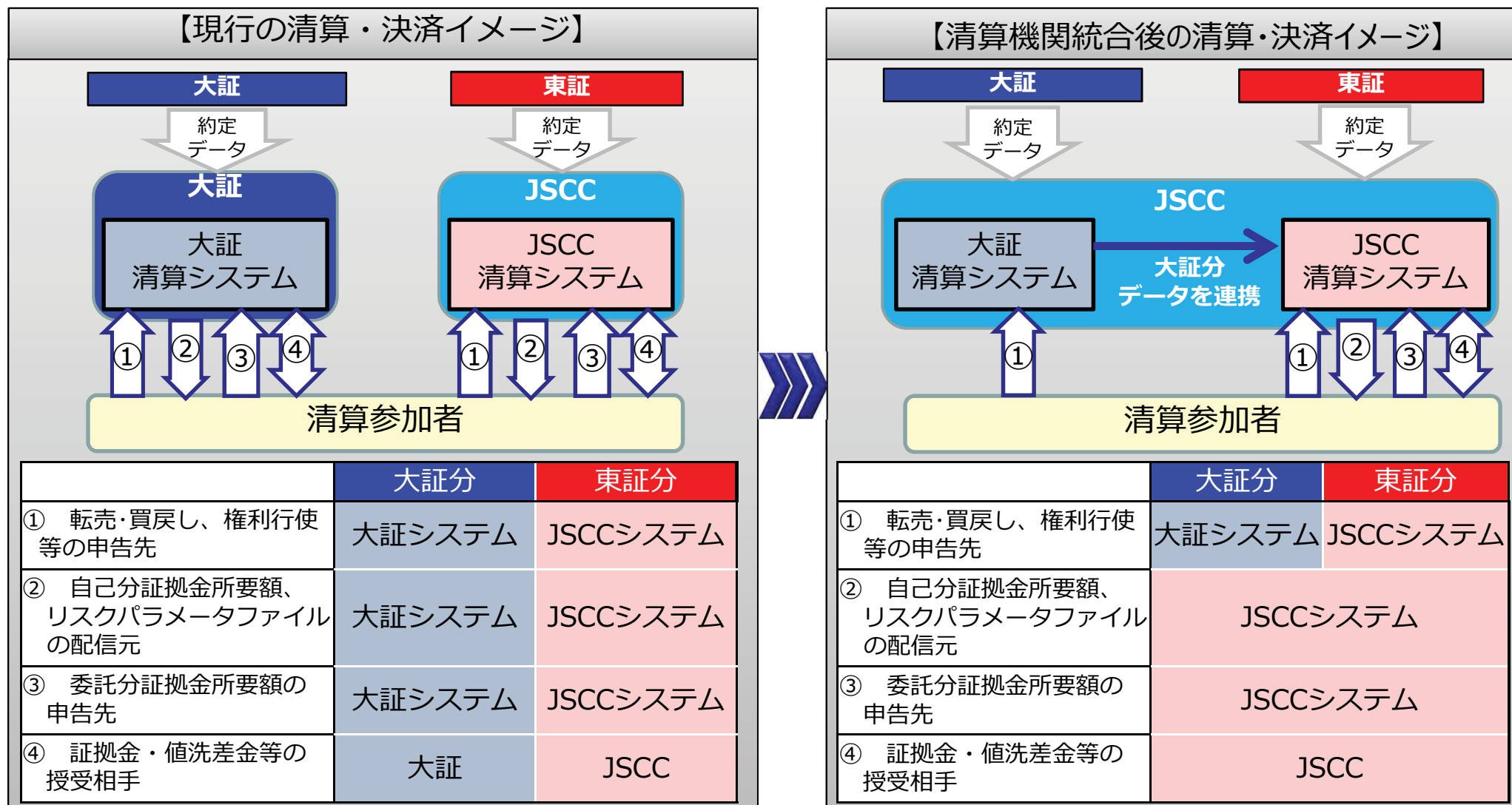


※上記スケジュールは現在検討中の内容であり、今後変更になる可能性があります。

2. 清算機関統合のイメージ



3. 清算機関統合による証拠金一本化等の仕組み



○ 参加者及び投資家にとってのメリット

- ① 日経225関連商品、TOPIX関連商品に係る証拠金減殺効果
- ② 決済代金、証拠金、清算基金の授受の一本化による資金効率の向上
- ③ 資金決済及び担保管理事務の一元化によるオペレーションの合理化

4. 清算機関統合後の損失補償スキーム

○上場デリバティブに係る清算基金の計算式と損失補償スキームを、FMI原則等を踏まえて見直す予定

		現大証	現JSCC	新制度案
損失補償スキーム	第1順位	デフォルト参加者の取引証拠金等	デフォルト参加者の取引証拠金等	デフォルト参加者の取引証拠金等
		デフォルト参加者の清算預託金	デフォルト参加者の清算基金	デフォルト参加者の清算基金
	第2順位	先物取引等違約損失準備金 (約70億円)	市場運営会社の損失補償 (東証の違約損失積立金 約104億円が原資)	市場運営会社の損失補償 (東証・大証の違約損失積立金等 約174億円が原資)
	第3順位 ※	大証の利益剰余金の一部	他社の清算預託金 (上位2社の破綻リスクをカバーする額)	JSCCの利益剰余金の一部
第4順位 ※		JSCCの利益剰余金の一部	他の清算参加者の清算基金 (上位1社+純資産下位5社の破綻リスクをカバーする額)	

※ なお不足する場合は特別負担金・特別清算料によりカバー。